

就職が えのとおりだ

ぞいりようをあつめて ついでみるよ  
ぬりすりのようなものが できました

「ひょっとして あのたぬきの やゝねん  
ほんまやったかもしれへんな  
いやいや まさか  
たぬきに そんなことが できるはずはない  
おやけど もしかしたら…」

就職は まよいながら

じぶんのしらに きつと ぬってみると  
なるなる できものはれが ひいていきました

「ぶしぎなもんや あの たぬきがなあ  
それどころか ぬいじんに なおったわい」

